

平成28年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成28年4月～平成29年3月

1. 学校概要

学校名 愛知県 一宮市立 宮西小学校
種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 中高一貫教育 高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()
所在地 〒491-0044
愛知県一宮市大宮4丁目5番33号
E-mail miyani-e@city.ichinomiya.aichi.jp
Website http://www.school.city.ichinomiya.aichi.jp/miyani-e/
児童生徒数 男子 325名 女子 315名 合計 640名
児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

① 国際理解

○ 世界一大きな授業（第5・6学年）



授業では、プレゼンテーションソフトで作成した教材を用いて行い、学校に通いたくても通えない子どもたちの現状をクイズ形式で学ばせたり、実際に字が読めないことで生じる困難の例を児童が未知のアラビア文字を読ませたりする体験活動を行うことで、学校で勉強する必要性を実感させた。「世界一大きな授業」を通して、貧困や平和に対する支援を行うことへの児童の意識を高めることができた。高めることができた児童の意識を無駄にしないためにも、文房具などの物資の支援や世界寺子屋運動への参加など、児童が考えた支援を実行できる方法を、学校や地域全体で考えていくことが必要だと感じた。今後も国際感覚豊かで行動力のある児童の育成を目指して取り組んでいきたい。

○ ニュージーランド・イタリア国際交流

一宮市の国際交流員であるニュージーランド人講師やイタリア人講師を招き、外国の行事や習慣を知ったり、異なる文化について学習したりした。交流を通して、国際理解の基礎を養った。



○ 国際理解ワークショップ

世界の児童労働について、ワークショップ形式で学習をした。グループごとに家族となり、誰が働き、誰が学校へ行き生活をしていくのか、具体的なケースを追体験した。その中で、他国の同世代の児童を取り巻く環境の違いを理解することができた。



○ 伝統文化体験（第6学年）

・ 雅楽鑑賞

校区内にある真清田神社より職員を招き、雅楽の演奏をしてもらった。児童は、雅楽鑑賞を通して、日本の伝統文化に親しんだ。



・ 茶道体験

地域の方々を講師に招き、児童は実際に茶道の立居振舞、礼法、点前を学んだ。茶道に込められた日本の文化・伝統に親しんだ。



② 平和・人権

○ 福祉実践教室（第5学年）

障害のある方を講師として招き、車椅子や点字、手話、ガイドヘルプ、高齢者疑似体験の体験を実際に体験した。車椅子や点字、手話、ガイドヘルプ、高齢者疑似体験により、障害を身近なものとしてとらえ、福祉の重要性を感じることができた。福祉の大切さと、障害がある人への対応の大切さを学び、一人ひとりの中に実践へ踏み出してみようという気持ちが生まれた。



○ アフリカへ毛布を送る運動（全学年）

生活に苦しむ人たちに対して自分たちにできることはないかと代表委員会で話し合い、この運動を行った。ポスターを作成し、呼びかけ強化週間を作って毎朝正門に立ち、全校児童に呼びかけた。この活動を通して、生活で苦しむ人たちのために貢献しようとする気持ちを育てることができた。



○ 宮西小人権週間（全学年）

「すべての人間は、生まれながらにして自由であり、平等である」とする人権尊重の理念を理解させ、思いやりの心を持ち、自他共にかげがえのない命を大切にしている行動について、いじめ防止との関わりをもたせながら啓発活動を行ってきた。



人権週間での取り組みとして、学校全体で人権について考える集会をもった。また、学校全体でいじめストップ運動を行い、各学級でスローガンを考え、いじめストップ宣言を行った。その他にも、NHK「いじめをノックアウト」に提出した「100万人の行動宣言」の用紙を昇降口や教室に掲示したり、「人権を理解する作品コンクール」に参加したりした。



○エコキャップ運動（全学年）

年間を通してペットボトルキャップの回収を行った。各教室や昇降口前にエコキャップボックスを設置したり、委員会の児童がポスターや昼放送で啓発を行ったりすることで、進んで協力する児童の姿が多く見られるようになった。



③ 環境

○緑のカーテン（第4学年）

本館南側1階から2階にかけて、ツルレイシ・アサガオ・フウセンカズラなどの植物を育て、緑のカーテンを作った。南からの直射日光を避けることができ、また実のなる植物を使ったことで、収穫の楽しさを味わうこともできた。また、4年生を対象に「緑のカーテン出前授業」を取り入れた。緑のカーテンによって温度が大きく違ってくることを実験から学び、環境問題や緑のカーテンによる効果について、理解を深めさせることができた。



○リサイクル活動（全学年）

・アルミ缶回収

毎月2日間アルミ缶回収を行っている。今年度は、集会をもって児童扮するエコレンジャーが登場して呼びかけることで活動を活性化させたり、アルミ缶を持ってき



た児童を昼の放送を使って発表したりして、取り組みに参加しやすいようにした。集まったアルミ缶の量や活動の様子は、エコスクール委員会から全校児童に放送で成果を発表し、活動の大切さを理解させた。



▪ 資源ごみ回収

(リサイクルボックスの設置)

資源として再利用できる名刺サイズ

以上の大きさの古紙を入れる箱(リ

サイクルボックス)を各教室に設置し、たまった古紙を委員会の時間に回収し、古紙の量を調べた。この活動により、むやみに紙ごみを増やすことをなくし、限りある資源を有効活用できるようにしていきたい。

(2) 活動時間について(下記から選択して下さい。)

- 通常の授業時間を使用(総合的な学習の時間を含む)
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他()